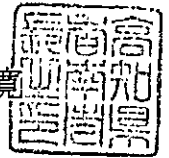


20 香南建発第 564 号
平成 20 年 10 月 10 日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

香 南 市 長 仙 頭 義 寛



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号をもって、依頼にあった標記の件について、別添様式のとおり回答します。

今後の道路行政について

様 式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県香南市

道路行政については、これまでも要望し続けているとおり、道路特定財源の一般財源化にあたっては、まず、道路の中期計画の見直しに、地方にとって真に必要な道路を計画に盛り込むとともに、財源が受益者負担の考え方に基づく道路利用の目的税であることを踏まえ、必要な道路整備予算を確保する仕組みを作り、道路整備が遅れている地方に対して重点配分を行うべきであります。

こうした道路整備は、国民の生活産業社会活動を支える最も基本的なインフラであり、地域が自立するために経済産業の基盤の確立、災害時の交通確保や救急医療など住民の命を守り、加えて住民生活に密着し必要不可欠なことから、強力に推進するべきと考えます。

②－１ 地域の現状と抱える課題

高知県香南市

○ 現状

① 香南市は高知県東部地方における、交通の玄関とも言うべき位置を占めております。しかしながら、香南市は県東部から高知市等西部への通行は、市を通過する国道が一本しか無いため、慢性的な交通渋滞を引き起こすなど、生活・産業・社会活動に支障をきたしています。こうした状況は、施設園芸農業・漁業等生鮮食料品の供給基地としての流通基盤の影響、更に事故や災害など、緊急時の医療機会や人命にかかる場合等、南海地震等の緊急輸送対策に交通途絶を余儀なくされ、早急な対策が急務となっています。

② また、地方の道路は、香南市においても、単に都会における通過通行のためではなく、特に一つの道路に頼っている現状では、迂回路が無く、地域住民の経済活動や通勤・通学など、日常生活に密着し、大きな支障をきたしている状況です。山間地の多い高知県では、①で言った現状のほかにも、生活に対する道の役割が都会とは、大きく違っていることから、地方の実情にあった道路整備が必要不可欠と考えます。

○ 課題

- ① 事故や災害等、人命にかかる緊急時への対応
- ② 生活・産業・社会活動の支障解消
- ③ 地方の実情に合った早急な道路整備

②－２地域の目指すべき将来像

高知県香南市

香南市及び高知県東部地域には、温暖な気候や恵まれた自然環境のなか、観光資源や施設園芸農業・漁業等生鮮食料品の供給基地としてその役割は大きく、また、先進産業分野でも世界シェアを占める企業も複数存在します。

今後、その資源を最大限に生かしながら地域の活性化につなげ、安全で快適な生活環境を確保し、都市と連携しながらお互いの機能を十分に発揮しなければならないと考えます。

そのためには、四国内と本州を含め、都市と地方を結ぶ道路整備はネットワークを形成するための最も重要な基盤整備として、必要不可欠であります。特に、将来的な展望の中では、四国の骨格軸となる高規格道路の整備「８の字」ネットワークは、地域が自立する経済産業の確立に欠かせなく、その整備が急務であります。

更に、今後 30 年以内の発生確率が 50 パーセントと、想定されてる南海大地震が起きれば、海岸線に接する国道は津波などで、寸断され、沿岸市町村は「陸の孤島」となります。

四国東南部地域は、国道 55 号一路線しかなく、既設の道路ストックが急速に老朽化していく中、高規格道路の整備とともに、一般国道の要改良区間の整備、災害等の緊急時や地域住民の経済活動等、安全で安心できる暮らしを確保しなければなりません。

香南市においても、高規格道や国道等基幹道路の整備と連携し、市民が安全・安心して通行できるネットワークやユニバーサルデザインに配慮した地域整備を進めて行きたいと考えます。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県香南市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
① 事故や災害等、人命にかかる緊急時への対応 ② 流通基盤の格差是正 ③ 地方の実情に合った早急な道路整備		① 事故や災害緊急輸送の早期対応。慢性した交通渋滞による日常生活及び緊急活動への支障解消。災害に強いまちづくり等。 ② 地域の経済・産業活動の活性化の向上、経済産業基盤の確立等。 ③ 総合的な交通安全対策、危機管理の強化、安全・安心で快適なまちづくり等。	